

私たちの仕事は、特別な日を創ることです

CERESPO

NEWS

vol. 90 March 2017

セレスポ

セレスポ・ニュース
平成 29 年 3 月発行
第 90 号



徳島県

ベートーヴェン「第九」演奏会

徳島県民に愛される
ベートーヴェンの「交響曲第九番」を
オーケストラと2,005人の合唱団とともに歌う

セレスポ
Pick Up

ヘルスケア&スポーツ
街づくりEXPO2017に
セレスポブース出展!



徳島県
ベートーヴェン「第九」
演奏会

2,005人の合唱団とともに歌う 「第九」



1918年、当時の徳島県板野郡板東町で第九が演奏されました。第一次世界大戦が終わり、約1,000人のドイツ兵が徳島県の板東俘虜収容所に収容。ドイツ人捕虜から「ギターを用意してくれないか」と頼まれた日本人が、当時はギターより簡単に手に入ったバイオリンを渡し、地元の人への感謝の意で第九を演奏してくれたそうです。今回の「第九」演奏会は徳島県民の第九への想いを強く感じさせるものでした。

ドイツとの深い交流で 培った文化

2月12日、徳島県のアスティとくしまで、交響曲第九番（通称：第九）がオーケストラとともに2,000人ほどの合唱団によって披露されました。ベートーヴェンが作曲したこの曲は、クリスマス時期

から年末にかけて耳にする機会が多いのですが、徳島県では季節、イベントにかかわらず演奏されるそうです。始まりは、1918年まで遡ります。

第一次世界大戦では日本は英国とともに連合国の一員として戦いました。アジアに展開していたドイツ兵は自国の敗戦とともに日本各地に捕虜として収容され

ていたそうです。当時の徳島県板野郡板東町に収容所があり、演劇やスポーツを通して友好的に交流していました。演奏の得意だったドイツ人捕虜が披露したのが第九。これが初めてアジアで第九が演奏された瞬間と言われており、ドイツ人と徳島県民との交流で残された財産のひとつとなりました。

Interview



同じ「想い」をもって成功に繋げる

吉成さま：セレスポさんには以前、皇室行事の仕事を依頼したことがあり、「失敗が許されない」なかでも安心してお願いできる印象がありました。今回の演奏会は徳島県にとって重要な文化、財産を扱うもので、世界に向けて発信していくという強い想いがありました。その想いを受け取っていただけ、準備から企画、運営まで幅広く力を貸していただきました。

高い要求をしてしまうこともあったかもしれませんが、快く受け入れて素早く対応してくれたこと。また、多くの方に協力をいただきながら、準備を進めていくなかで計画的に全体をまとめながら進行してくれたことはとても印象的でした。来年ももっと盛り上げていきたいので、是非お力添えいただけると嬉しいです！

秋月さま：今回は、三社が合同で進めていくという特殊なカタチで、私はセレスポさんとお仕事したのは初めて。私自身イベントに関わって長いのですが、イベントにはどうしても想像を超えるトラブルが発生することがあります。それらに素早く対応できているのは多くの経験と実績があるからこそだと感じました。

細かいこと、地味なことを積み上げていく。これは「想い」があるかないかだと私は感じます。想いがあるからこそ「一緒に成功させるぞ！」と責任が持てるんですよね。

今回のイベントで、セレスポさんとはそんな想いが共有できて、良いチームが作れ、素晴らしい仕事ができたと感じています。



VS東京
徳島県県民環境部
とくしま文化振興課 文化創造室
吉成 浩二（よしなりこうじ）さん



制作プロデューサー
秋月 義郎（あきづきよしろう）さん

常に“いま”が 集大成だと思って 仕事をしています

株式会社セレスポ
高松支店
砺波 将一 (となみまさかず)



初演の地には、ドイツ館が建てられ、今でもドイツとの交流が盛んに行われているそうです。今回の公演会場となったアスティとくしまにも、ドイツ人と徳島県が交流してきた歴史が展示され、ドイツにちなんだキャラクター、お菓子なども販売されていました。徳島県民にとって、ドイツはとても身近な存在であることが感じ取れました。

人を迎え入れる県の風土

今回は世界的に有名な秋山和慶氏の指揮で、とくしま記念オーケストラ、全国公募により集結した2,000人を越える世界に広がれ！とくしま“歓喜の歌”合唱団が第九を披露しました。第1楽章から第4楽章まで、オーケストラと合唱団が演奏したあと、伝統とテクノロジーの融合を目指し、特別ゲストとしてバーチャルシンガーの初音ミクが登場。合唱団とともに第4楽章の一部、瀬戸内寂聴さんが作詞をした「ふるさと賛歌」を合唱しました。

「今回の公演会は、2018年の第九のアジア初演100周年に向けて、ホップ、ステップ、ジャンプのステップに該当する



バーチャルシンガーの初音ミク



イベントです。第九は徳島県にとって誇り。今回は初音ミクさんに参加してもらいましたが、来年も長い伝統と新しいテクノロジーを融合した新たな試みを取り入れて徳島県を大きくジャンプさせていきたい。今回、観客として参加してくれた皆さんも来年はぜひこちら側と一緒に歌ってください」（飯泉嘉門徳島県知事）

会場で驚いたのは観客も一緒に第九を歌っていたところ。会場にいる全員が一体となって第九を大合唱している姿からも、第九が徳島県民にとって如何に特別な曲なのかを感じさせるものでした。

徳島県は「阿波踊り」でも有名ですが、阿波踊りの歌詞に「踊る阿呆に見る阿呆、同じ阿呆なら踊らな損々」というフレーズがあります。飯泉県知事が「こちら側と一緒に歌って下さい」と語るの、徳島県がドイツ人捕虜を迎え入れたように徳島県独特の人を迎え入れる文化ならではのかもしれません。

Event Data

- ベートーヴェン「第九」演奏会
- 2017年2月12日 14:00~16:00
- 観覧有料
- アスティとくしま 多目的ホール
- 徳島県 県民環境部 とくしま文化振興課 文化創造室



今回は徳島県の誇りを扱う重要なイベントであり、プロデューサーさん、演出家さんと足並みを揃えなければいけません。皆で意識や方向性の共有ができなければ、イベントの成功は難しくなり、お客さまや協力会社さんはもちろん、イベントに参加される方も満足していただけない可能性があります。

私は常に「お客さまの意向をカタチにするのが私たちの仕事」と考えて仕事をしています。プロデューサーさん、演出家さん、私たちの三者間の意識の刷り合わせや方向性の確認を常に行ったことで、事前準備もイベントも滞りなく進めることができました。何度も打ち合わせを重ねたことは、チームすべてがその思いを持ってイベントに向かうことに影響したような気がします。

セレスポだけではなくプロデューサーさん、演出家さんも含めたチームで、一緒に徳島県を盛り上げていく。またぜひ、このチームで仕事をさせていただきたいです。

私がセレスポで営業をはじめて5年が経ちました。常に“いま”が集大成、全力をかけてやっていく、それが私個人の想いです。より多くのお客さまに喜んでもらい、一人でも多くの方にセレスポの名前を知っていただけるように、これからも全力で挑戦していきます。

セレスポ
Pick Up

ヘルスケア&スポーツ 街づくりEXPO 2017にセレスポブース出展!

2017年3月8日(水)～10日(金)の3日間、東京ビッグサイトで開催された『ヘルスケア&スポーツ 街づくりEXPO 2017』に出展しました。

ブースでは、弊社が運営している企業運動会の総合支援サービス「運動会.com」と、2017年1月よりオフィシャルパートナーとなったギネスワールドレコーズが提供するギネス世界記録®に挑戦することを通じて、参加者の団結力や結束力を高めることに重点を置いたエンゲージメント・プログラムをご提案。健康増進に留まらず、コミュニケーションの活性化やモチベーション向上の施策としてご紹介しました。体験コーナーでは、模擬的にギネス世界記録に挑戦していただくことで、ギネス世界記録挑戦がチームビルディングの有効なツールであることをアピールしました。

弊社ブースへご来訪いただきました皆さま、誠にありがとうございました。セレスポでは、引き続き、ギネス世界記録挑戦の企画・提案や、ギネス世界記録に挑戦する認定イベントの実施など、ギネス世界記録を活用し、皆さまの課題解決のためのソリューションを提供していきます。初回相談は無料で承りますので、お気軽にお問い合わせください。



ギネス世界記録挑戦体験コーナーでは、人工芝の上に、ゴルフボールを10個並べて、そのゴルフボールの上にピンを10本立てる時間を競う世界記録を、体験いただきました。3日間の最高記録は26秒、世界記録はなんと14.5秒(2017年3月8日現在)だそうです。なかには4回も挑戦した負けず嫌いな方もいて、体験コーナーは大いに盛り上がりました。

【お問い合わせ先】 株式会社セレスポ 事業支援部 (☎ 03-5974-1112)

平成 28 年度東京都スポーツ推進モデル企業に選定

株式会社セレスポ(本社:東京都豊島区、代表取締役社長:稲葉 利彦)は、東京都のスポーツ推進企業認定制度において、スポーツ分野における社会貢献活動の実施に対して、昨年12月に東京都スポーツ推進企業に

認定されました。今回は同認定を受けた128社の中から、特に社会的な影響や波及効果の大きい取り組みをしている企業として「平成28年度東京都スポーツ推進モデル企業」に選定されました。



発行 発行日:平成29年3月20日

発行元 株式会社セレスポ (CERESPO CO.,LTD.)
〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-21-5(本社)
TEL:03(5974)1111 FAX:03(5394)7651
http://www.cerespo.co.jp/

編集 山川 謙(yawn)
記事 コーポレートデザイン室
デザイン ジッピーデザイン

編集後記

通常、オーケストラ楽曲は管弦楽器を中心に演奏されますが、なかには私たちの想像を超えた演奏をするユニークな楽曲があります。例えば、「タイプライター」という楽曲は、タイプライターが楽中に登場し、タイプ音や紙送りのシリンダー音を融合してコミカルに演奏されます。また、「インマー・クライナー(だんだん小さく)」では、小さくなるのは音ではなくクラリネット本体。演奏中に管体が分解され、どんどん短くなり、マウスピースだけの音で終わり、最後には演奏者が帰るというオチまでついています。

このように、私たちの日々の生活でも“当たり前”の固定概念を外して、新しい自由な発想でイベントを楽しんでいきたいですね。